

事務事業名	農業用河川工作物応急対策事業(東分頭首工)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系的	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	土地改良G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(36)農業の振興	担当者名	菅澤 直樹	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2402
	基本事業名	(107)農業基盤の整備	予算科目	会計 款 大事業 大事業名	0 1 3 0 0 2	土地改良事業
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。	項 目 中事業 中事業名	0 5 5 5 0 4	農業用河川工作物 応急対策事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 年度 ~ 29 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
農業用河川工作物(頭首工)の整備、補強。事業費8,000千円以上100,000千円未満の市発注工事。
■ 事業費補助率 (H25~) 市負担率3%(国55%、県42%)
■ 基本設計 平成21年度
■ 計画書作成、事業採択 平成25年度
■ 実施設計 平成26年度
■ 工事着手~完了 平成27年度…工場製作 平成28年度~平成29年度(繰越) …据付及び土木工事

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)			
	■ 据付及び土木工事 ・工事発注 ・工事管理(現場) ※繰越明許分	■ 据付及び土木工事 ・工事管理 ・事業完了(検査) ・支払事務				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 基本設計進捗率	%	100	100	100	100
	イ 計画書作成・事業採択進捗率	%	100	100	100	100
	ウ 実施設計進捗率	%	100	100	100	100
	エ 工事進捗率	%	0	50	90	100

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	洪水時氾濫区域内農地所有者	ア 受益戸数	戸	16	16	16	16
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
洪水時氾濫区域内農地の荒廃防止を図る	ア 農地面積	ha	0.0	0.0	2.0	2.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
事務費 800千円	財源内訳	千円	3,542	22,528	0	17,710
	国庫支出金	千円	2,704	17,203	0	13,524
	県支出金	千円	400	1,900	800	900
	地方債	千円	18	200	0	466
	その他	千円				
	一般財源	千円	6,664	41,831	800	32,600
	事業費計(A)	千円				
	正規職員従事人数	人	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	100	150	150	
	人件費計(B)	千円	389	587	595	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,053	42,418	1,395	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成24年度から、この国庫補助事業が開始されたが、平成25年度には補助率が5%高上げられる等、拡充がされている。	特になし。	・この事業を実施することによって、農業用施設の治水機能が確保され、地域の安全確保に役立っている。また、地元負担金がないため継続的な実施要望がある。 ・一方、固定堰での要望が多いが、採択要件に合わず、実施出来ない状況である。

事務事業名	農業用河川工作物応急対策事業(東分頭首工)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由 事業実施前に河川工作物の診断を行い、要改修・修繕の判定がされたものについて、事業実施をしている。 また、実施設計を精査し、工事発注しているため向上の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 治水機能が劣っている河川工作物について、事業実施が行われるため 治水上の安全が確保できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由 実施設計を精査した上で事業に着手するため、削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 概略設計から事業完了まで、最小限の業務時間で行っているため、削減の余地はない。	
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 対象地域は、河川工作物が現存している地域であるため限定されるが、定期診断及び申請診断を行い、計画されている。また、地元負担金はない。	
① 1次評価者としての評価結果			
評価 の 総 括	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 河川工作物について、治水機能の劣っている工作物について、安全を確保するために実施できる事業である。 また、受益者負担金がないため、今後も継続的な事業実施が必要である。
	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
<p>・早期完成に向けて、業務の円滑な調整が必要である。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																								